

平成 20 年度 ExTEND2005 基盤的研究、野生生物の生物学的知見研究及び
平成 19 年度採択フイージビリティースタディー研究課題一覧

区分 番号	代表研究者	所属	研究課題名
基盤的研究			
基盤 1	青山 博昭	残留農薬研究所	哺乳類を用いた毒性実験の結果に影響を及ぼす 実験動物の遺伝的要因解析
基盤 2	中西 剛	岐阜薬科大学	胎児期におけるエストロゲンシグナルの gain of function とその性分化の可塑性
基盤 3	太田 茂	広島大学	胎仔期、新生仔期の代謝機能と内分泌かく乱作 用発現
基盤 4	鯉淵 典之	群馬大学	核内ホルモン受容体による転写調節における環 境化学物質の作用機構
基盤 5	岩田 久人	愛媛大学	野生生物のリスク評価を目指した核内受容体リ ガンドの網羅的解析法の開発
基盤 6	長濱 嘉孝	自然科学研究機構 基礎生物学研究所	メダカの生殖内分泌系に及ぼす化学物質の内分 泌かく乱作用の作用メカニズムに関する研究
野生生物の生物学的知見研究			
野生 1	濱口 哲	新潟大学	野生メダカの性分化異常に関わる基礎的情報の 収集と解析
野生 2	堀口 敏弘	国立環境研究所	東京湾における生態系かく乱の実態解明とその 要因解析
野生 3	上田 哲行	石川県立大学	アカトンボ減少傾向の把握とその原因究明
平成 19 年度採択フイージビリティースタディー (FS)			
19FS 1	徳元 俊伸	静岡大学	ステロイド膜受容体を標的とした化学物質の内 分泌かく乱作用に関する研究
19FS 2	原 俊太郎	昭和大学	精子に存在するホスホリパーゼ A ₂ 活性の阻害を 介した環境化学物質の新たな内分泌かく乱作用 機構に関する研究
19FS 3	高瀬 稔	広島大学	両生類の野外および室内飼育における精巣卵の 消長
19FS 4	白岩 善博	筑波大学	シヤジクモ類の衰退要因解明に向けた環境負荷 化学物質の影響に関する生理・生態学的研究